

九州パワーアカデミー



私たちは、九州域内ひいてはアジアの電気工学を支える技術者・研究者の育成に貢献します。

Kyushu Power Academy

Kyushu Power Academy

大学・高専

[国立大学]

九州大学・九州工業大学・
熊本大学・佐賀大学・
長崎大学・大分大学・
宮崎大学・鹿児島大学

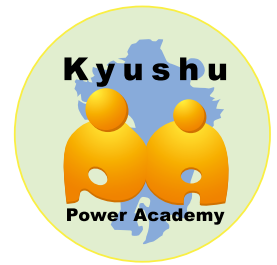
[私立大学]

福岡大学・福岡工業大学・
九州産業大学・西日本工業大学・
長崎総合科学大学・崇城大学・
日本文理大学・近畿大学

[高専]

北九州高専・久留米高専・
有明高専・大分高専・
佐世保高専・熊本高専・
都城高専・鹿児島高専

〈順不同〉



協賛企業

九州電力株式会社

九州電力送配電株式会社

一般社団法人九州電気保安協会

一般社団法人日本電機工業会 福岡支部

株式会社九建

株式会社九電工

株式会社九電送配サービス

株式会社九電ハイテック

株式会社キューヘン

株式会社正興電機製作所

株式会社戸上電機製作所

株式会社安川電機

株式会社菱熱

九州高圧コンクリート工業株式会社

九電産業株式会社

九電テクノシステムズ株式会社

九電みらいエナジー株式会社

光洋電器工業株式会社

大電株式会社

NPO法人 QUEST

西日本技術開発株式会社

西日本電線株式会社

西日本プラント工業株式会社

ニシム電子工業株式会社

日本タングステン株式会社

Kyushu
Power
Academy

1 | 目的

九州域内の大学・高等専門学校及び企業の人的ネットワークを形成し、九州域内ひいてはアジアの電気工学を支える技術者・研究者の育成や技術・研究開発を促進し、産学の発展に貢献します。

2 | 背景

近年、環境エネルギーが問題となっていますが、これの解決策として多様な再生可能エネルギーと、新しい電気エネルギーシステムの構築が期待されています。電気工学は、既に現代社会を支える基盤技術であるとともに、次世代の高度技術社会の構築を牽引する最も重要な技術体系の一つです。

しかし、理系離れが進む昨今、これから専門知識を学ぶ若者は、このような電気工学の重要性や将来性を必ずしも十分理解しているとは言い難い状況です。これは、産学が十分に伝えることができなかつたことも、その一因といえます。

さて、国内では電気工学分野の若手研究者を支援し、電気工学の魅力を広く伝え、電気工学分野の発展を目指した全国レベルの取り組みとして「パワーアカデミー」が2008年4月に設立されました。これをさらに盛り上げ、成果を高めるためには、地域の実情や特質に合わせた、きめ細やかな取り組みが不可欠です。

このような状況の中、「九州はひとつ」の思いのもと、九州域内の電気工学分野の発展のため、大学・高等専門学校及び企業をネットワーク化した九州独自の組織「九州パワーアカデミー」を設立することとしました。

3 | 九州パワーアカデミーの思い(活動スローガン)

(1) 技術者・研究者の育成

大学・高等専門学校の教員の相互派遣、特別講義の開催など、電気工学の実務や技術・研究開発に活かせる「技術」を円滑に継承・発展させ、九州域内及びアジアの発展に貢献する技術者・研究者を育成します。

(2) 大学・高等専門学校と企業間における技術・研究開発の架け橋

シンポジウムや、企業・学生向けの出前講義などを開催し、企業のニーズと大学・高等専門学校のシーズを結びつけることで、九州域内の大学・高等専門学校と企業間のネットワークの強化と連携、人的交流及び技術・研究開発を促進します。

(3) 電気工学の可能性と魅力を子供たちへ継承

小中高生を中心とした学生向けに、発電所の仕組みや太陽光・風力発電などの再生可能エネルギーを用いた電気工作によるものづくり等を通じ、電気工学分野を担う青少年を育成します。

4 | 活動状況

将来につながる効果的な活動を行うには、企業のニーズや刻々と変化する社会情勢に合わせた内容にすることが不可欠です。少しでも多くの企業の皆様の生きた意見を伺い、実りのある活動にしていくことが重要だと考えております。

私どもは、九州域内の企業および大学・高専が団結して活動すべく、定期的に委員会を開催しております。教育部会や研究部会では協賛企業や学校から選任された委員が具体的な活動計画を持ち寄り、白熱した協議を行ったうえで、様々な活動（講演会、セミナー、シンポジウム、見学会など）を実施しております。

これまでに実施した活動の一部を紹介します。

(1) 技術者・研究者の育成

新しい技術を間近で感じたり、第一線で活躍する研究者の多彩な講演を聴くことにより、未来を担う技術者を育成

- 電気工学セミナー（電験2種および3種受験対策講座）
- 施設見学会（発電所見学会等）
- 各種講演会（九州各地で開催） など

(2) ものづくりによる次世代層の育成

実際のものづくりを通じて、電気エネルギーの面白さを伝え、電気工学分野を担う次世代層を育成

- 小中学生向けものづくり体験講座

(3) 産学のネットワークの強化と連携、人的交流および研究を通じた人材育成

情勢変化等を踏まえたテーマに関する有識者の意見交換を実施し、電気工学の果たすべき役割、着手すべき技術などを共有化

- シンポジウム
- 九州パワーアカデミーフォーラム
- 産学連携フェスタ（討論型授業）

引き続き、活動内容を更に充実させて行くとともに、以下の内容にも取組んで行きます。

- 教育現場の課題共有及び改善
- 持続可能社会実現に向けた電気工学分野の課題抽出、共有化、産学連携支援
- 九州域内の大学、高等専門学校の研究シーズの紹介



施設見学会



講演会



ものづくり公開講座



フォーラム



産学連携フェスタ

5 | 組織と役割

九州パワーアカデミーは九州パワーアカデミー総会、企画委員会、教育部会、研究部会を構成し、九州域内の国公立大学・高専の教員と連携しています。また、協賛企業は随時募集します。

九州パワーアカデミー総会（1回/年）

代表幹事：九州大学 末廣純也 教授
副代表幹事：九州工業大学 渡邊政幸 教授
熊本大学 勝木 淳 教授

- 教育・研究の年間活動計画及び予算・決算等を決定
- 年度の活動実績について報告

企画委員会（4回程度/年）

委員長：九州大学 末廣純也 教授
委員：九州工業大学 渡邊政幸 教授
熊本大学 勝木 淳 教授 他 計10名程度
(大学・高専の教員、協賛企業)
顧問：九州大学 岡田龍雄 名誉教授

- 教育部会及び研究部会に関する事項を決定

教育部会（4回程度/年）

部会長：九州工業大学 渡邊政幸 教授
委員：10名程度
(大学・高専の教員、協賛企業)

- 教育に関する事項を企画・実施

研究部会（4回程度/年）

部会長：熊本大学 勝木 淳 教授
委員：10名程度
(大学・高専の教員、協賛企業)

- 研究に関する事項を企画・実施

九州パワーアカデミー事務局 (九州大学 大学院システム情報科学府 内)

- ・九州パワーアカデミー総会、企画委員会、教育部会、研究部会の事務
- ・予算・決算の管理や活動実績集約 他

6 | 九州パワーアカデミー企画委員会からのご挨拶



委員長 末廣 純也
九州大学 教授

九州パワーアカデミーを通じ、産学連携を促進すると共に、アジアに開かれた新たな電気工学を目指します。



教育部会長 渡邊 政幸
九州工業大学 教授

各種イベント等とおして電気工学分野への関心を高めるとともに、次世代につながる活動を進めていきます。



研究部会長 勝木 淳
熊本大学 教授

宮内肇先生の後任でプレッシャーを感じつつ、これまでの素晴らしい取組みを継続し少しでも発展させられるよう尽力する所存です。



委員 迫田 達也
宮崎大学 教授

南国の地にも九州パワーアカデミーの活動が浸透する架け橋になりたいと思います。



委員 福澤 剛
北九州工業高等専門学校 教授

高専の5年間で、電気電子工学の技術と知識を身につけ、それを幅広い工学分野に適用し、問題解決できる技術者を育成します。



委員 川畑 秋馬
鹿児島大学 教授

研究シーズと社会ニーズの円滑なマッチングが図れるような産学間の緻密なネットワーク形成を目指します。



委員 川崎 仁晴
佐世保高専 教授

大学の英知と高専の卓越した技術力を融合させ、現代の困難なエネルギー問題に立ち向かえる次世代の技術者を育成します。



委員 西田 貴司
福岡大学 教授

ますます発展していく電気工学の今後を担う技術者の育成を九州パワーアカデミーとともに進めていきます。



委員 蛭原 義雄
九州大学 教授

九州パワーアカデミーを通じた産学連携の発展に資するような、先端的システム制御理論の研究に尽力します。



委員 守田 賢二
㈱九電工 執行役員

産学の緊密な連携により、電気工学分野の発展に努め、社会活動の“血液”である電気を通じ、九州の発展に貢献できるよう取り組めます。



委員 松本 一道
九州電力㈱
テクニカルソリューション統括本部
総合研究所長

カーボンニュートラル、DX、AIの基盤となる電力技術の次世代層育成により、九州を始めとする持続可能な社会の実現に取り組めます。



顧問 岡田 龍雄
九州大学 名誉教授

九州パワーアカデミーを通じ、産学連携を促進すると共に、アジアに開かれた新たな電気工学を目指します。

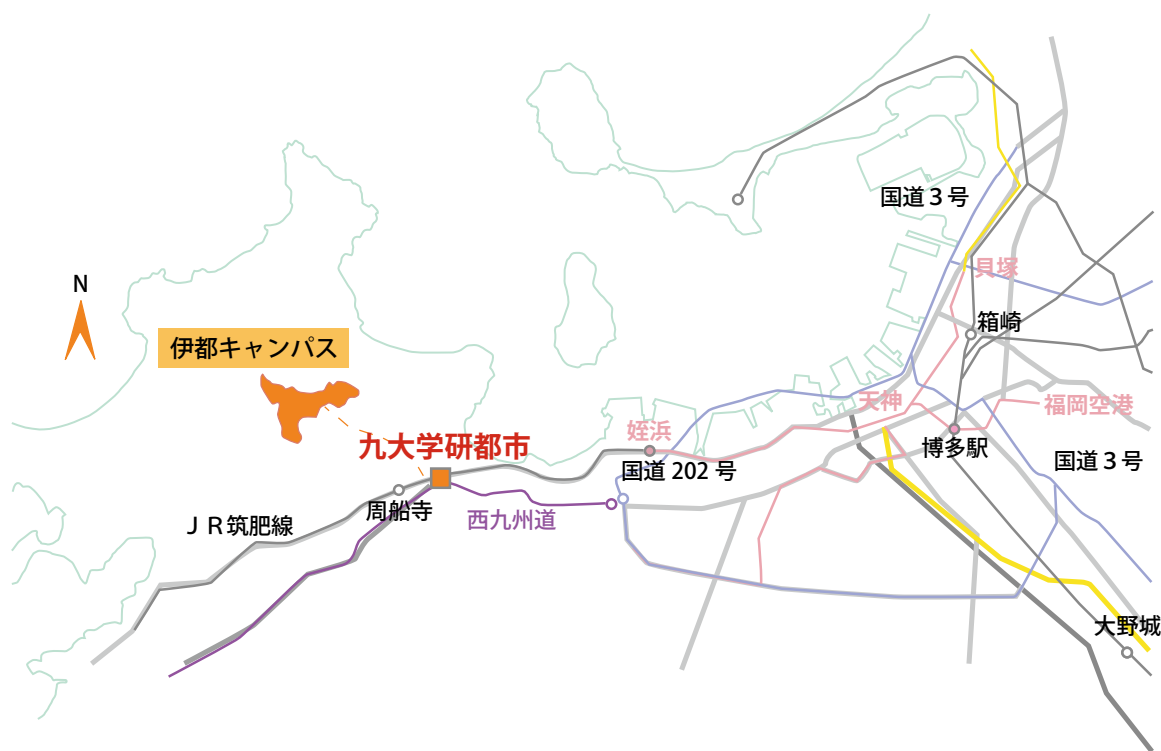
九州パワーアカデミーへの 参加お申込はこちら



設立日 平成21年6月1日

九州パワーアカデミー事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学伊都キャンパス ウエスト2号館508号室
TEL/FAX 092-802-3773
E-mail jimukyoku@kpa.ees.kyushu-u.ac.jp
HP <http://kpa.ees.kyushu-u.ac.jp/>



凡例：	--- 学園通線	— 高速道路	— 福岡都市高速	— 主要道路
	— JR	— 私鉄	— 福岡市営地下鉄	